



飛の直捨で4回なら理想でした  
が。

★ 最初には客寄せ級を持つてく  
るのが定跡ですが、一番の難  
問が来てしました。逆手  
数順にしておけば易しいのを  
先頭を持って来れたのにと氣  
づいたのは4月号発行後では  
後の祭り。

\* 中沢照夫一7手目の27香が見

えず大苦戦。相性の悪い手順で  
困った。

★ いきなり誤解者の評をもつて  
くるとはくるばんもお疲れ気  
味?

神谷薰一初形はかなり汚いが

作意は好手が続く。

☆ 大駒や香といった飛び道具が  
乱れ舞をして、読みの力が試さ  
れる作品です。10手目の変化を

作意より短く詰ますのに往生し  
てしましました。

岡崎行晃一野口作で丸一日考えさ  
せられた（感動作）

★ これがトップバッターとは申  
し訳ない次第です。

谷口翔太一解答で鍛えた鑑識眼。

並みの作品は創らない

利波偉一トップバッターとしては、

難解で解く気がそがれる作品。

手数順も良し悪しですね。作意

自体は粘り強い手順で面白かつ  
たんですけど

凡骨生一豪快な手順は大駒四回捨

てから感じる。

\* 宮本慎一—玉を下段に落とすん  
や

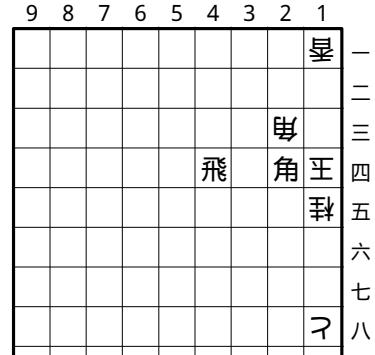
安原嗣治一凝り固まつた飛・金・  
桂をほぐすのが先決。8手目の

26飛合がうまい延命策  
つた。

\* 和田 登一香の使い方が難しか  
った。

★ 実に読み難い順が続きます。

② 入選 8回									同玉、32飛以下
岡山市 伊達 悠									同玉、34桂、33玉、24金迄
9	8	7	6	5	4	3	2	1	星
									飛
									角
									王
									駒
									マ



でしょうね。

☆ 収束が流れてしまつた感があるのと、合駒読みは他の作品

が濃すぎて点数は伸びませんでした。

☆ 大学受験のため一時休養に入

るそうですが詰め会のためにも合格して早期復帰を望みます。

天津包子—桂合は 22 竜から 34 桂

があつた

利波 偉—これも難しかつた。解

いた後爽快な感じがしないんだよな

\* 中沢照夫—さりげない初形から

飛車の中合。玉を下段に落としてからもう一回飛車合いがある。

凡骨生—合駒四回入りだが、歩中合にドツキリした。

和田 登—玉が 71 まで行くとは

★ 全体的なバランスはイマイチ

という気がしますが、合駒 4 回の心意気を買います。

### ③ 入選 26 回

町田市 利波 偉

9	8	7	6	5	4	3	2	1
王	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
一	二	三	四	五	六	七	八	九
歩								飛
	桂		桂	角	桂	角	桂	
旱	旱	旱	旱	旱	旱	旱	旱	龍
								歩

持駒 なし

作者—四回桂を成る・四回銀を剥す・四回銀を打つ・四回香を取

る・四回香を打つ趣向と、まあ

こじ付け気味ですが、前に「ど

こにも出せない普通詰将棋」で

楽しい作品が好評だったので、

パラでもどうなか試したいと

思い出品します。(没だつたりし

て...)

61 と 41 に成るのが桂でも良い

非限定があります。

また、21・24・44 の成り駒は

生駒でも良いのですが、成り駒

に揃えました。パラの標記の成

銀・成香じやなくて、全と杏な

ら綺麗な字面なんですけど

ね、。

実は本作も高校の時の作品で、

春棋会用に作った作品を修正し

たものです。廃刊によつて載せ

られたなかつた作品です。当時は

軽趣向の作品を沢山作つていた

んですよ。今は全然作れない

ですが、当時の遺産を弄ること

はできますね。

☆ 四回がたくさん出てくる軽趣

向作品。特に解説するところも

なく全員正解と思つていたら思

わぬところに落とし穴がありま

した。

天津包子—32 銀、同との変化で少

し読まされたが易しい趣向詰で

した。

☆ この変化につまずいた人が

数名。全題正解を逃した方もお

られました。

☆ 非限定が嫌われるかと思つて

いたのですが、評価は予想以上

に延びました。玉が 1 筋まで行

つて往復していれば逆転してい

たかもしません。

キムキム—気楽な趣向作。

佐藤司—最終手は 93 香が一番人気、では二番人気は?

① 同とは 11 竜、42 玉、41 竜、  
53 玉、44 竜以下

93 香迄 37 手詰

73 香、82 玉、84 竜、92 玉、

名越健将——これは誰でも解けます。

利波さんの戯局と思われる。

原雅彦——手順前後と歩が無くなれば完璧ですね

安原嗣治——これは傑作。91～92へ行くのに往復カニ玉とは驚きです。  
駒多いなあ

29香、28歩、同香、27歩、  
同香、17玉、18歩、同玉、  
④29銀、27玉、28銀、16玉、  
17歩、同角成、同銀、同玉、

利波偉——途中まで解いて、真面目に解いても面白い手順のはずがないのが解り、以降は適当に解っていたので、正解手順かどうか自信が無いです。駒が余らないで詰んだから正解ですかね?

利波偉——途中まで解いて、真面目

和田登——楽しめました。

谷口翔太——お祭りだ。御輿を担いで、町内往復。ワツシヨイ、ワツシヨイ。

岡崎行晃——利波作は解き易く楽しめました

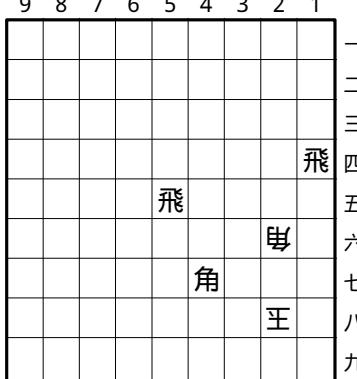
★ 詰四会ではこのような作品をたくさん出題していきたいと思っています。出すところが無いとお嘆きのあなた!よろしくお願いします。

☆ 今回の問題作です。  
和田登——掴みづらい玉で難解だった。

小林 理——浮橋のように詰め上がりました

#### ④ 入選 18回

大阪市 富永 晴彦



持駒 金香歩

利波 偉——馬鹿馬鹿しい軽趣向ですが、私は好きな世界なんです。

中沢照夫——折り返しで少考するも楽しい趣向作

凡骨生——4のオンパレードで楽しい作。

宮本慎一——成銀4枚、成香4枚、

と金1枚、竜1枚、桂4枚、角

2枚等世にも奇妙な配置駒、成

同飛、同角、38銀、26玉、

凡骨生——合駒四回入りの早い飛角図式だ!  
早川清一——詰上図が幾何学的な構造ですばらしい。ところで各手順は難解なものが多く攻防とともに寸時のゆるがさない詰図である。

谷口翔太——純正の飛角図式で、4度の合駒、巧妙な手が続きます。今回の作品展の特選品。

神谷薰——銀合2回に連続歩合で手

☆ 飛角図式で連続合を含むネバリのある手が続きます。④で37銀は飛角図式だからキズにしておいてください、と逃げようとしたのですが加登屋さんから恐ろしい指摘が・・・

☆ ④53角、26銀合、18歩、27玉、28金、16玉、17金、同銀成、同角成、15玉、55飛以下手数は長くなりますが詰んで

いるようです。

☆ついにやつてしましました。

粗検おわびいたします。

原 雅彦—27手目の26同角の紛  
れに嵌つて大変でした。

宮本慎一—銀合、歩合2回ずつ発

生。最後は見栄え良く詰み

★詰四会では柿木に頼り切った  
検討ですので、それを超える余  
詰には対応が難しい。お詫びも  
仕上げます。しかし作者本人が  
ペンネームで指摘と言うのは拙  
かつた。きちんと作者からの余  
詰報告という形にすべきで、不  
愉快に思われた方にはこの点も  
お詫び申し上げます。

◇ 総評＆次回予告

谷口翔太—ベテラン対新進気鋭の  
対決、結果や如何に?軍配は野  
口、富永勢に揚がるでしょうね。  
作品展はお祭り。仲良く楽しく、  
これが大切。第5回を楽しみに

待ってます。

☆努力します。

☆次回開催は詳細が決まり次  
第お知らせいたしますのでよろ  
しくお願ひします。

【全題正解者】

神谷 薫 日下通博 関末凱康

谷口翔太 利波 偉 福村 努

凡骨生 増田智彬

高沢武夫 早川清一 宮本慎一  
和田 登

【3題正解者】

天津包子 岡崎行晃 出崎 守

原 雅彦

【2題正解者】

市原 誠 キムキム 小林 理  
佐藤 司 中沢照夫 長森優作  
名越健将 無漏田彰 山田 立

【当選者】誌代1ヶ月文入帖

神谷 薫 谷口翔太